

令和 6 事業年度

決算報告書

自：令和 6 年 4 月 1 日

至：令和 7 年 3 月 31 日

国立大学法人千葉大学

令和6年度 決算報告書

国立大学法人 千葉大学

(単位:百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	18,349	18,440	91	(注1)
うち補正予算による追加	-	1	1	
施設整備費補助金	3,912	3,489	△ 422	(注2)
船舶建造費補助金	-	-	-	
補助金等収入	2,996	5,427	2,431	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	21	21	-	
自己収入	56,649	53,952	△ 2,697	
授業料、入学料及び検定料収入	8,995	9,105	110	(注4)
附属病院収入	46,980	43,960	△ 3,019	(注5)
財産処分収入	-	-	-	
雑収入	673	885	211	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	8,079	9,609	1,530	(注7)
引当金取崩	395	495	100	(注8)
長期借入金収入	1,809	272	△ 1,537	(注9)
貸付回収金	-	-	-	
目的積立金取崩	1,016	-	△ 1,016	(注10)
引当特定資産取崩	-	-	-	
国際卓越研究大学研究等体制強化助成	-	-	-	
大学運営基金取崩	-	-	-	
計	93,229	91,708	△ 1,521	
支出				
業務費	74,216	71,907	△ 2,308	(注11)
教育研究経費	25,360	25,095	△ 264	
うち授業料免除枠	-	1	1	
診療経費	48,856	46,812	△ 2,044	
施設整備費	5,743	3,781	△ 1,961	(注12)
船舶建造費	-	-	-	
補助金等	2,731	5,172	2,440	(注13)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	8,079	8,245	165	(注14)
貸付金	-	-	-	
長期借入金償還金	2,459	2,447	△ 11	(注15)
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金	-	-	-	
国際卓越研究大学研究等体制強化助成事業費	-	-	-	
計	93,229	91,554	△ 1,674	
収入 - 支出	-	153	153	

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、予算額に計上していない前年度繰越事業を実施したことや、教育研究基盤維持経費等が交付されたことにより、予算額に比して決算額が91百万円多額となっております。
- (注2) 施設整備費補助金については、事業の一部を令和7年度に繰越したため、合算して予算額に比して決算額が422百万円少額となっております。
- (注3) 補助金等収入については、地域中核・特色ある研究大学の連携による産学官連携・共同研究の施設整備事業等による増加のため、予算額に比して決算額が2,431百万円多額となっております。
- (注4) 授業料、入学料及び検定料収入については、出願者数の増加等により、予算額に比して決算額が110百万円多額となっております。
- (注5) 附属病院収入については、主として病床稼働率が目標としていた90%を下回ったことにより、予算額に比して決算額が3,019百万円少額となっております。
- (注6) 雑収入については、主として寄宿舍料収入、受取利息等の増加により、予算額に比して決算額が211百万円多額となっております。
- (注7) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、主として産学連携等研究収入の増加のため、予算額に比して決算額が1,530百万円多額となっております。また、収入額については前年度以前からの繰越額626百万円が含まれております。
- (注8) 引当金取崩については、予算段階では予定していなかった退職給付引当金等の取崩を行ったため、予算額に比して決算額が100百万円多額となっております。
- (注9) 長期借入金収入については、予定していた事業(にし病棟改修)を中止したため、予算額に比して決算額が1,537百万円少額となっております。
- (注10) 目的積立金取崩については、当初予定していた病院再開発経費の取崩を行わなかったため、予算額に比して決算額が1,016百万円少額となっております。
- (注11) 業務費については、業務委託費や、病院再開発事業一部中止に伴う工事費等の減少により、予算額に比して決算額が2,308百万円少額となっております。
- (注12) 施設整備費については、(注2)に示した理由により、予算額に比して決算額が1,961百万円少額となっております。
- (注13) 補助金等については、主として(注3)に示した理由により、予算額に比して決算額が2,440百万円多額となっております。
- (注14) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、主として(注7)に示した理由等により、予算額に比して決算額が165百万円多額となっております。
- (注15) 長期借入金償還金については、借入時期及び借入額の変更により、予算額に比して決算額が11百万円少額となっております。